

中国全土に広がるEV熱

地方のEVユーザーの8割以上が、乗用車の新規購入者

- 1-9月のNEV（EV+PHV）車販売は71万台（前年同期比141%）と、ガソリン車の取得規制や市内乗入規制が行われている大都市中心にNEV市場が大きく拡大している。
今回は、こうした規制が行われていない地方の中小都市（鄭州市）で、純粋なEV購入者の実態を調査。

【結果】

- ◆ 8割以上のEV購入者が、初めて自動車としてEVを購入 (図1)
- ◆ 5割弱のEV購入者は、電動自転車を保有し電動モビリティが身近な移動手段 (図4)
- ◆ 7割以上のEV購入者は、週に4日以上EVを使用 (図5)
- ◆ 9割以上のEV購入者は、EVに満足（「非常に満足」「満足」の比率） (図9）
（「非常に満足」と回答したユーザーのEVの再購入意向は8割弱）

⇒ エントリー層中心で、電動モビリティが身近な中小都市の短距離用途中心のユーザーではEVの満足度は高く、エントリー層が増える中小都市でEVユーザー拡大の可能性が大きい。

性別 (%)	年齢 (才)	世帯人数 (%)		職業 (%)		住宅 (%)	月収 (万元)
		単身 (%)	2人以上 (%)	国営 (%)	民間他 (%)		
53.5	30.5	9.1	90.9	15.2	84.8	97.0	1.8

【EV購入/ユーザーの特徴】

図1.購入形態

- ・EVユーザーの8割超が新規購入者
- ・低価格帯ほど、新規購入の割合が増加

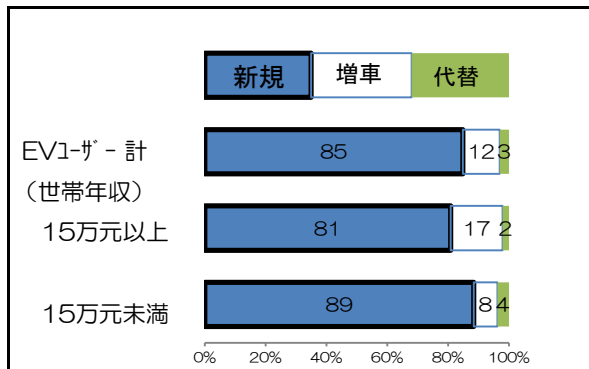


図2.購入理由

- ・電動自転車では不便（寒さ、移動距離が短い等）が、購入のキッカケ
- ・EVは、時代のトレンド（環境等）、維持費の安さ、静粛性、優遇策等から選択

<女性30代（知豆E200/新規）>

- ・冬には電動自転車に乗るのは寒くて、不便なので自動車を購入。
- ・一番重要なことは、EVは将来のトレンドということ。
- ・充電費用が安いことと、環境に貢献できる。

<男性30代（北汽EC180/新規）>

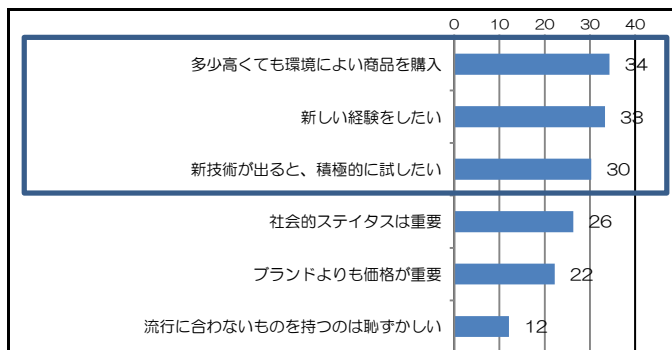
- ・今後、駐車場や高速道路料金など優遇策が増えると聞いている

<男性30代（Rowei eRX5/増車）>

- ・ガソリン車の音を聞いているとイライラするが、EVは静かでリラックスできる。

図3.価値観

- ・「多少高くても環境によいものを購入」、「新しい体験をしたい」等が高く
- 環境意識が高く、最先端のものを取り入れた志向が強い



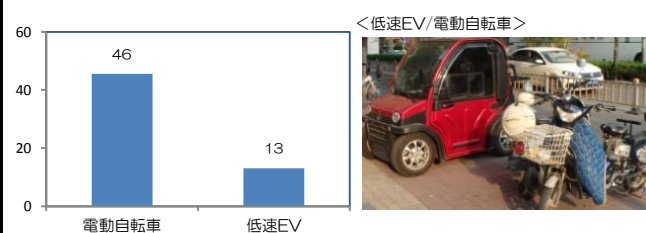
<女性30代（知豆E200/新規）>

- ・子供にはエコを教えている、人々のエコ意識は強まっている

図4.電動モビリティとの関わり

- ・電動自転車が5割弱、低速EVは1割程度保有しており
- 電動モビリティは身近な存在となっている

<自動車以外の移動手段保有率>



<女性30代（知豆E200/新規）>

- ・電動自転車は、どこでも駐輪できるので市内では便利

<男性30代（北汽EC180/新規）>

- ・電動自転車は、行動範囲が狭い、低速EVは、多人数で乗れないのとナビがないので購入しなかった

【EVの使用状況】

図5.使用頻度・走行距離

- 7割以上が週4日以上運転し、1日の走行距離は20km以下

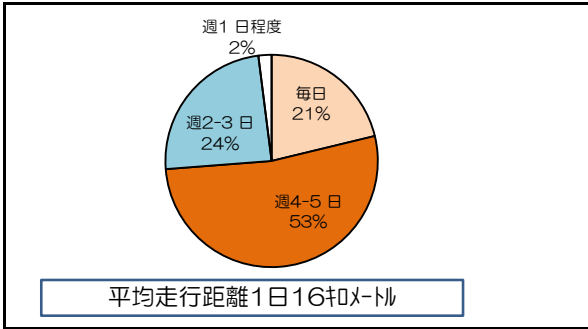


図6.使用内容

- 平日は通勤・送迎の近距離用途、休日は複数人数乗車や遠距離用途

<規女性30代(知豆E200/(新規))>

- 通勤や市内・近郊で足代わりとして使っている。航続距離にも不満はない。

<男性30代(北汽EC180/(新規))>

- 平日は通勤や、妻が子供の送迎に使って、1日で40~50km走る。週末には、4人家族で妻の実家に行くか、郊外に遊びに行く

<男性30代(Rowei eRX5/(増車))>

- 家族での外出や仕事での荷物の運搬に使っている

図7.充電場所

- 専用充電スタンドの利用は5割以下にとどまる

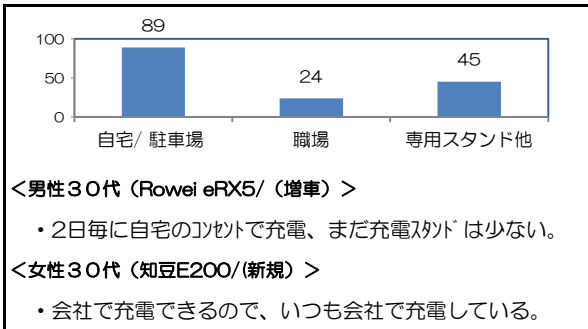


図8.アフターサービス

- 新しい商品で信頼性が低いため、アフターサービスが重視される

<男性30代(北汽新エネEC180/(新規))>

- 修理やアフターサービスが不安だったので、市内に販売店が2つ以上あるメーカーの車を探した。ハンドルの遊びが非常に大きいので2回修理したが、まだ直らない。

<女性30代(知豆E200/(新規))>

- ハンドルを回すと音が鳴る、ドアも非常に重い。現状はやや粗末だが、今後の品質向上に期待している。

【EVの満足度と再購入意向】

図9.自車満足度とEV再購入意向

- 自車満足度は、「非常に満足」「満足」合わせて9割超。
- 満足度が高いほど、EV再購入意向も高い

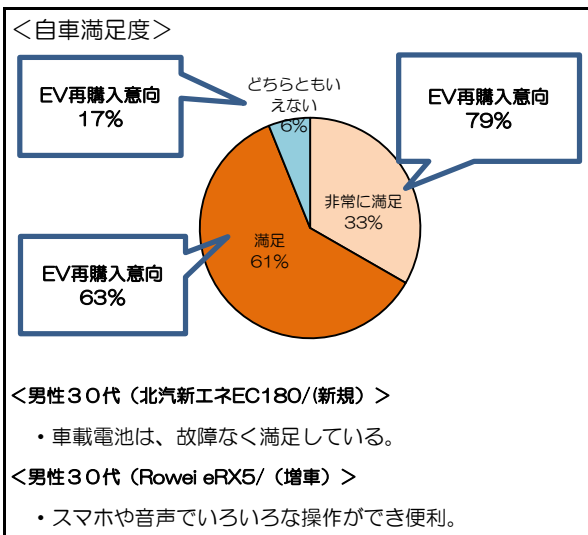


図10.5年後に欲しいEV

- 今後は、品質の向上した航続距離の長いタイプや小型SUVなど多様なボディタイプが求められる。

<女性30代(知豆E200/(新規))>

- EV車の航続距離と品質が良くなれば、またEV車を購入
- 小型SUVが、運転しやすそうで、家族の外出にも対応できる
- 友人も国産車に乗っているので、合弁より国産車がよい
- 走行距離は400~500km走るとよい

<男性30代/北汽EC180/(新規)>

- モデルチェンジサイクルが早く、改良が進むので、次もEVを購入。
- ガソリン代はますます高くなり、EVが発展するトレンドが続く
- 400km程度走れるものがよい

<男性30代(Rowei eRX5/(増車))>

- 5年後には、EV技術はさらに成熟し、1時間充電で800~1000kmは走れるようになる、そのころにマンションとEVを買い増したい。

【調査概要】

- 調査対象者： 新車EV購入ユーザー
- 調査都市： 鄭州市（ガソリン車の市内乗入規制未実施）
- 調査方法： 1) インターネット調査（定量調査）
2) お宅訪問インタビュー調査（定性調査）

④ 調査サンプル数：

1) インターネット調査（定量調査）	100 サンプル
2) お宅訪問インタビュー調査（定性調査）	3 サンプル

- 実査時期： 2018年6月

※ 本調査は、ガソリン車のナンバー取得規制が実施されていない中小都市（鄭州、済南、西安）のEVユーザー調査から、都市中心部への乗入規制が未実施の鄭州市の調査結果を用いて作成。

【問い合わせ先】

- 宗形 i-munakata@gendai.co.jp
- 八杉 o-yasugi@gendai.co.jp
- 呉 b-wu@gendai.co.jp
- 田口 k-taguchi@gendai.co.jp

参考)

【地方都市（鄭州）の電動モビリティの状況】

• 電動自転車や低速EVといった電動モビリティは足代わり



• EVのカーシェアサービスもある



• EV充電スタンドは、平日の日中でも満車



• 家のコンセントから直接充電



【地方都市（鄭州）のEVユーザーのライフスタイル】

• 高層住宅に住み、清潔感のある西洋風のインテリア、子供の絵を飾る家族重視のライフスタイル

